



▲写真左：関根さん 写真右：岡部さん

せきねかな
消防士・救急救命士 関根可奈さん
おかべひかる
消防士 岡部耀虹さん

「一人でも多くの人を助けたい」「人の役に立ちたい」と消防士の道を選んだふたり。24時間体制の交代勤務で、救急出動の他、災害救助の訓練、車両の点検整備、イベントや事業所や学校での救急法の指導など多岐にわたる業務をこなしています。女性消防士はまだ少数派。「女性でも消防士になれるの?」と聞かれることが多い一方、女性を搬送する時には「話しやすい」「安心した」と言われることも。「ありがとうの一言がやりがい。もっとたくさんの女性に消防士を目指してほしいです!」



▲出動に備えて、自主訓練や車両の整備を徹底!



▲胸骨圧迫など救急法の紹介や指導も行います。

もしもの備えの基本のき

9月1日は「防災の日」
9月9日は「救急の日」です!

救急車を呼ぶ? 呼ばない? 迷った時はどうすればいい?!

地震や台風、熱波や大雨など、何かと心配が多いこのごろ。普段から心に留めているつもりでも、「いざ!」という時に慌ててしまうこと、ありますよね? 須賀川消防署で活躍する消防士・救急救命士に、すかつとエリアで発生しやすい災害やもしもの時の対応の仕方、日々の備えのヒントを聞きました。

火事や台風、地震から身を守るための身近な備えとは?!

「家族の体調が急変した!」「近所で煙が出ている!」「大雨で家が浸水した!」「交通事故でケガをしてしまった!」「こんな時、頼りになるのが119番通報。須賀川消防本部の管内では、昨年1年間(令和4年)で7000件を超える通報があり、うち救急出動した件数は過去最多の5700件近く。1日平均で15.5件に上ります。」

「すぐ来てほしい!」という人の症状は、重篤なものから軽いケガまでさまざま。「救急車に着くまでに、少なくとも用意して欲しいのが、健康保険証とお薬手帳。急病の人を一刻も早く病院に運ぶためです」と関根さん。一方、出動の際は通報時の情報をもとに現場へ向かいます。到着した後に「緊急性は低い」と判断することも少なくないそうです。

「多くが急病による搬送で、今もその数は増え続けています」というのは、女性消防士・救急救命士として活動する関根さん、岡部さん。119番通報による出動は、自然災害や火事に対応する消火・救助と、急病に対応する救急があります。この数か月は熱中症による搬送が増えています。猛暑はまだ続くので注意が必要ですよ!と二人。「防災の日」「救急の日」を前に119番の適切な利用の仕方、身の回りでできる備えを再点検し、欲しいと話します。」

「救急車を呼ぶかどうか迷ったら、かかりつけの病院に電話し症状を伝えて判断をお願いしますか、#7119(救急安心センター)や、休日や夜間のお子さんの急変でしたら#8000(小児救急医療電話相談)に相談すれば、通報が必要な状況かどうかを教えてもらえます。それから、消防庁には救急受診アプリ『Q助』があります。もしもの時の備えとして、日頃からスマホにインストールしておくことをお勧めします!」



救急受診アプリ『Q助』

そして、9月は台風シーズン。4年前の台風19号による水害は記憶に新しい出来事ですが、同じように、この時期は風水害や土砂災害のリスクが高まります。台風の危険から身を守るため、私たちにできる備えは「家の周りにある風で飛びそうなものは片づける」「排水を遮る側溝のゴミや草は取りのぞく」「ハザードマップで避難場所や経路を家族で確認しておく」の3点。ちなみに、関根さん、岡部さんは、自宅の手の届く場所にヘッドランプを常備し、「泊程度の衣類をバッグに用意して、もしものに備えているそうです。」



ヘッドランプは両手を使ってオススメ

火事ですか、救急ですか / 場所はどこですか /



火事・救急は119



▲「映像119」の受信訓練。携帯電話のカメラを通して状況を把握することができます。



▲365日24時間、通報を受けられる体制を整えています。

119番の通報は通信指令室で受信しています。

Q. 状況を伝える時に大切なことは?
A. 緊急出動で重要なのは、まず場所です。自宅や職場の固定電話なら住所を、慣れない場所で携帯電話から通報する時は、落ち着いて近くに目印になる施設等を探し、正確に伝えてください。

Q. 緊急通報する方法は電話だけ?
A. 聞こえづらい、話しにくい方のための「ネット119(登録者のみ)」「FAX119」「メール119(登録者のみ)」の他、スマホのカメラを使って現場の状況をやりとりできる「映像119」もあります。

Q. 皆さんに改めてお願いしたいことは?
A. スマートフォンの衝撃や誤打による誤通報が増え、本人も自動通報に気づかず応答ができないことが増えています。ぜひ一度、ご自身のスマートフォンの機能や設定の確認をお願いします!



▲火災や救急、救助の要請を受け、適切な情報を聞き取り、必要な部隊を出動させます。



須賀川地方広域消防組合 イメージキャラクター マモタン

なくそう住宅火災 未来につなげよう大切な笑顔

第13回 消防ふれあいデー

10/7(土) 10:30~14:30 荒天中止
イオンタウン須賀川駐車場

楽しく知って 今日から 備えよう!

防災用品展示 / 応急手当体験 / 消火器体験 / 煙体験 / 地震体験 / 子供用防火衣装着体験 / 電動カート乗車体験 / クイズコーナー / はしご車搭乗体験 / 住警器PR

お問合せ 消防本部予防課 TEL.0248-76-3114
主催/須賀川地方広域消防本部 協賛/須賀川地方消防防災協会

ポイントは「ふだんから使っているもの」
最小限の備蓄例

1,2泊分の下着や衣類

健康保険証や通帳、免許証など

ふだん服用している薬や絆創膏

【チェックリスト】もしもの備えは大丈夫? 持ち出し品セットをチェックしよう!

<input type="checkbox"/> 服用している薬	<input type="checkbox"/> ラジオ
<input type="checkbox"/> 現金、通帳、免許証、健康保険証等	<input type="checkbox"/> 飲料水
<input type="checkbox"/> 食料	<input type="checkbox"/> 下着、衣類
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> スマートフォン、充電器
<input type="checkbox"/> マッチ	<input type="checkbox"/> ホイッスル